

## 活動報告書

活動名	MUGI		
団体名	流通科学大学 白ゼミ 14期生		
活動目的	<p>国産小麦の活用方法と美味しさを広めるために、国産小麦を使用した流通科学大学白ゼミ14期生MUGIチームと地元企業「小麦生活」との共同商品を開発する。この活動は、主材料および商品の作り手である小麦生活と同じ西区所在の流通科学大学で商品の企画・製造・加工・流通・消費までの地産地消の典型となる。地域住民の安心・安全・健康を守り続けてきた地元企業のPRに貢献することを目指している。</p>		
活動内容	<p>「神戸西区産小麦を使った地元企業と地元大学の共同開発商品としてドーナツの企画・製造・販売」し、地元で消費できることを目指して、広報活動を行った。</p> <p>■2023年11月11日～12日両日間本学の学園祭で模擬店出店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドーナツの試作から加工を行い、顧客に地元企業の小麦生活の思いを伝えながら、試験的に販売した。</li> <li>・パッケージに小麦生活のInstagramのQRコードを貼り、売り場では小麦生活の取り組みを紹介しPRを行った。</li> <li>・その売れ行きや反応を商品改良案に反映するようにした。</li> </ul> <p>■2023年12月21日に改良商品をもって小麦生活代表の加古氏が来校し、参加者全員に試食してもらい、食と健康に対する意識調査と商品改良案のためのアンケート調査を実施することを決めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果に基づいて、小麦生活に、サクサクとした生地ではなく、「もちもちとした」生地へ、プレーンだけではなく「チョコレート味」の追加の改良を提案した。</li> <li>・共同商品開発の背景や商品の紹介、購入提案のために大学本部への企画提案書を提出する祭に、改良した試作品の提供を求めた。</li> </ul> <p>■2024年2月26日に本学の広報室と教務部連携の打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学を共同開発商品の購入先として、共同開発商品の紹介および購入提案のためのプレゼンテーションを行った。</li> </ul>		
参加人数	スタッフ	9	名
	参加者		名
活動の効果	<p>■学園祭模擬店出店効果からの反省点および改善案探し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西区産（国産）小麦という看板に引かれて、購入してくれる人や口頭での説明で興味を持たれる人が一定数いたが、実は、西区産（国産）小麦ではなく、ドーナツに惹かれて購入するほうが多かった。</li> <li>・同時に販売していたチョコスのほうが人気が高かったため、ドーナツに関してはもう少し見た目の改善や味の種類、など市販されるドーナツとの差別化が必要だという反省点が生じた。</li> <li>・また、学園祭前のInstagramのフォロワー数と、その後のフォロワー数の確認ができていなかったため、包装紙のQRコードの宣伝効果が把握できなかった。「地消」のためのプロモーションとして、SNSのような媒体をより積極的に活用する必要性を感じた。</li> </ul> <p>■本学本部への共同商品購入提案書の提出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下記の5つの提案を行った結果、</li> <li>①大学本部棟みかんホールに「Ryuka Innovation Team」の共同商品販売ブースを利用、学生・教職員・来客などの方々に販売する。</li> <li>②「学生チャレンジプロジェクト」「留学生スピーチコンテスト」などのイベントで受賞したチームへの賞品として利用する。</li> <li>③「オープンキャンパス」の来客者への贈呈です。受験環境の厳しい今日、本大学が西区を構成する一員として地域連携を積極的に行う大学であることの宣伝にもつながり、地域貢献、地産地消、ひいてはESGの観点から責任のある大学のイメージアップを目指す。</li> <li>④Amazonの「バナナスタンド」での無料配布のように（以下のリンクを参照）、本学においても月一回ペースで「ドーナツスタンド」で朝ご飯抜きに登校する学生や周辺の地域住民に無料配布を提案する。 (<a href="https://jp.wsj.com/articles/SB11885244261179044396204583161914156383372">https://jp.wsj.com/articles/SB11885244261179044396204583161914156383372</a>)</li> <li>⑤学食内の販売ブースの設置や移動販売車（あるいはキッチンカー）での販売を提案する。</li> <li>・早速、教務部との連携で、3月中に実績をあげる方向に決着がついて、③が採択される結果に至った。</li> </ul>		
活動経過	<p>大学側に企画提案のプレゼンを行った結果、③3月16日開催のオープンキャンパスで配布する案が採択され、3月4日現在、大学の教務部－MUGIチーム－小麦生活との間で実現に向けて協議中である。</p>		
関係団体	流通科学大学教務部、同大学広報室、同大学学生部		
今後の展望	<p>3月16日に行われるオープンキャンパスで来場した客に同大学白ゼミの共同開発商品ドーナツを配布することで、社会共創活動に積極的なゼミおよび大学の宣伝にもなる。そのような地域連携が芽生えてくると、5月11日に開催される教育後援会においても実績をあげることができる。それは学生部との連携活動になるが、上記の学生部事業活動としての②案の実現可能性も高くなる。その活動と効果が教職員、学生、その保護者に浸透し、地域住民に広がるようになれば、地域企業の小麦生活の認知度や販売向上にもつながること、継続性が見込める。これによって小さなまちづくりが生まれてくる。</p>		
その他	<p>今後の活動の継続性のためにも、本活動の背景および目的などを踏まえた内容のリフレットを作成し、ドーナツと一緒に配布する予定である。</p>		

活動記録写真（白ゼミ 14期生）

・学祭出店（制作・販売）



